

平成29年3月10日号（第171回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

関東地方では2月頃からスギ花粉が飛び始めます。花粉症の症状は鼻水や目のかゆみを始め、重症になると微熱や倦怠感など全身の症状が見られることもあります。この季節、様々な薬が市販されていますが、まずは花粉に触れないことが大切。マスクや帽子、メガネをしたり、外出から帰ったら上着をはたき、洗顔やうがいをするなどのセルフケアで症状は緩和できるそうです。



今回の阿伎留通信は、

－「6階東病棟のご紹介」－

をテーマに6階東病棟の藤田 三和看護師長よりお話しさせていただきます。

6階東病棟は、内科・循環器内科・呼吸器内科の患者様を対象とした病棟です。糖尿病・高血圧などを中心とする生活習慣病や、心不全・心筋梗塞など急性期治療に対する医療と看護を提供しています。病棟のベッド数は44床です。朝起きると窓から差し込む朝陽が清々しく感じられると思います。そして緑の山々とイオンモールが一望でき、景観がとても良いのも特徴です。

入院患者様1人に対して、担当看護師が入院から退院まで責任をもって担当させていただきます。患者様とご家族に寄り添う看護を心がけています。

6階東病棟の特徴

6階東病棟は10歳代から90歳代と幅広い年齢層の患者様が入院されます。検査入院から生活習慣病の教育入院、急性期から慢性期に及ぶ病気の治療と看護を提供させていただいています。入院時から地域医療連携センター、栄養科、リハビリテーション科、薬剤

科など他部署のスタッフと連携をとり、患者様の思いに寄り添うような看護が提供できるよう病棟全体で取り組んでいます。循環器科は週2回(月・水)、手術前の心機能の評価や、狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療を実施しています。呼吸器科は気管支鏡検査をはじめ、化学療法・放射線治療を実施しています。糖尿病教育目的で入院される患者様には、糖尿病療養指導士を中心に、統一した指導を提供しています。

スタッフ紹介

内科医師：7名

循環器内科医師：4名

看護師：24名(看護師長1名・主任2名含む)

看護補助者：6名



対象疾患

内科は全身性あるいは内臓などの病気を、主に薬物療法によって治療します。肺炎・心疾患・悪性腫瘍・糖尿病・高血圧などの治療を行っています。

療養環境

病室は清潔感があり、大きな窓からは日差しも入り、明るく感じられます。病室毎のトイレや洗面など設備面でも満足して頂けると思います。落ち着いた病室で、心穏やかに安心して病気を治療して頂くため、環境を整えています。

病棟の廊下には、看護補助者によって、患者様の心に季節感を感じていただけるよう四季折々毎に装飾をしております。ぜひ、目に留めてみてください。

6階東病棟スタッフ一同、「笑顔で元気に明るく、思いやりの心で」をモットーに仕事に取り組んでいます。



阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)